

地域に根ざした婦人部活動を目指して

深浦漁業協同組合婦人部
浜田 勢子

1. 地域と漁業の概要

私達の所属する深浦漁協は、四国の最南端に位置し海岸線が入り組むリアス式海岸を形成しており風光明媚な天然の良港である。(図1) 位置的に県内外の漁船の入港も多く、主に鰹一本釣漁業を柱に、まき網・曳縄・底引・刺網・はえ縄漁業などが盛んに行われており、平成13年度の水揚販売実績は23億円となっている。全国的に鰹といえば高知県・宮城県等が有名だが、当漁協も西日本一の鰹の水揚高を誇っている。また、旧漁協施設の老朽化も進み手狭になったため、平成12年11月には敷地面積9,510㎡・総事業費9億円を投じ、荷捌所をはじめ製氷施設・漁業者研修会議室と食堂を有する漁民厚生施設など新漁協が完成し移転となった。

2. 漁協婦人部の組織と運営について

現在、婦人部員115名で構成されており、うち役員7名が中心となり7地区別で活動を行っている。貯蓄推進・共済推進を始め、常に組合との連絡を密に取りあい「地域に根ざした婦人部活動」を心掛け、日々活動に取り組んでいる。

先に述べた様に、平成12年11月に新漁協が完成した。新しい漁協をより一層美しくある様にと「環境美化」に努めようと考えた。また新漁協は旧漁協より少し離れた所にあり、地域の方々とも今まで以上により密接した関係が必要と考え、少しでもその橋渡しができればと考えた。

3. 研究・実践活動課題選定の動機

私達婦人部は、今まで漁協の内部的な活動に積極的に取り組んできたが、対外的な活動はほとんどなく試みもしていなかったように思う。現在、漁業者の減少・高齢化、また勤めに出る人が増加する中、地域の人達と漁協との関わりが希薄化傾向にある。

しかし、黒潮の恵みを受けた素晴らしい海に恵まれ、西日本最大の鰹の水揚げを誇るこの深浦をみんなに知ってもらい、また、地域の水産業の活性化と人々との繋がりを図るためにも、イベント参加による鰹のPR等に積極的に取り組むようになった。

これらの活動について紹介する。

4. 実践活動の状況・成果

まず最初に取り組んだ環境美化は、海岸道路の清掃である。新漁協ができるに伴い、新しい道路が整備され沢山の車が通行し、道路端にはゴミが投げ捨てられるようになった。年3回、町・漁協・漁業者・婦人部で分担し行われる「海の清掃」にも積極的に

取り組んでいる。私達婦人部は海岸道路のゴミ収集を担当したところ、約1kmの道路に毎回20～30袋程のゴミが収集される。いつもゴミの多さには驚かされるが、「ゴミのポイ捨て禁止」の立札を各所に設置した結果、以前に比べるとゴミが減ってきた。私達の他にも、各地区で自主的に清掃を行ってくれるグループもある。毎回同じ事の繰り返しの様ではあるが、「海の清掃」を通じて一人ではなかなかできないことも、みんなで力を合わせればできるという有意義な経験を持つことができた。また今後も地域とのコミュニケーションを図りながら「海の清掃」は根気よく続けていかなければならないと思っている。

また新しい漁協をより美しく気持ちよく使っていただけるように「花いっぱい運動」にも取り組んだ。とても広い敷地なので、50鉢ものプランターを準備し、みんなで協力し花の苗を植え育てた。毎日交代で水やりに通ったが、冬は大変風が強く海から吹き上げる潮で枯れたり、夏はコンクリートの暑さで水をどんなに与えても枯れてしまい、何度も何度も植え替え大変な作業の繰り返しであった。だが、漁業者の方や仲買人の方、漁協を訪れるお客様には、「きれいやね。」「気持ちいいね。」と喜んでもらっている。

「漁協経営への参画」は婦人部活動の大きな柱であり、年3回の貯蓄推進では信漁連・役職員の方々と各地区別に貯金協力の「浜まわり推進」を行っている。後日、再度各婦人部の役員が集金にまわっている。尚、昨年夏の「浜いっぱいの笑顔キャンペーン定期」に取り組んだ結果、5,500万円の目標に対し1億200万円の実績を収め協力することができた。また、婦人部で「旅行積立貯金」と称し、7地区60件(1口5,000円)の定期積立を集金している。満期金の一部で部員間の親睦や交流を兼ね、毎年旅行を行い婦人部の活動の1つとして10年間継続している。また以前より何度か漁協で行われる共済の勉強会にも参加し、各家庭へ職員の方と共済推進も行った。

毎年5月には県内外から2万人が訪れる城辺町の一大イベント「かつおフェア」が開催される。今年度は「えひめ水産まつり」と合わせて「かつおフェア」が開催され、私達婦人部員も漁協の役職員の方に混じり浜値で即売される初鱈のたたき売りに奮闘した。

またイベントの中で、海の子供達から山の子供達へ苗木の贈呈があり、豊かな漁場環境を維持していくためには森で生まれる栄養豊富な水が欠かせないことを学び、私達婦人部も「漁民の森づくり運動」を今後実施していかなければならないと考えさせられた。

6月には深浦地区の夏祭りに先駆けヒラメの稚魚3,000匹が放流され、小学生や地区の人達と一緒に婦人部も参加している。9月には深浦地域婦人部と協力し敬老会で食事の準備や接待係りにと、地区の行事もお手伝いする。高齢化が進む中、協同組合運動の相互扶助の精神で婦人部として取り組める福祉運動にはできるだけ積極的に参加している。

「きれいな海は家庭から」をキャッチフレーズに年間を通じての粉石けんの販売、地区の方の要望で年末の冷凍食品や海苔の販売など、漁協に於いても地域に於いても1年間を通じ休む暇もなく婦人部の活動は沢山ある。

漁協の落成式では、式典・お祝いのイベントなどが盛大に行われた。漁協・役員・

婦人部が三者一体となり何回も集まり話し合いを持ち、役職員の方とのコミュニケーションを取り、みんなで落成式を盛り上げようと一体感・連帯感を感じる事ができた。

当日、漁協は勿論のこと婦人部を中心に女性総勢50名が「内助の功・縁の下の力持ち」となり、沢山のお客様の接待、補佐役を努める事ができた。とても大変であったが、素晴らしい体験、達成感を得ることができた。

5. 波及効果

婦人部が浜まわり運動を重ねていくことにより、深浦地区に限らず地域全体に漁協の事業運営に対する信用・理解度も高まってきている。また、奉仕活動の意識の向上等も図られ、生活環境の輪が広がった。

6. 今後の活動・問題点

どこの婦人部も同じ悩みをかかえているのではないかと思うが、深浦漁協婦人部も部員数の減少・高齢化が進み、活発な婦人部活動を行っていく上で大きな壁となっている。これから若い世代の人達に活動を知ってもらい、参加してもらうにはどうすればいいかが最大の課題だと思う。現在漁協合併の波が押し寄せているが、いつまでも漁協が私達の心の拠所である様にと望み、地道に活動を続け地域の人々と共に歩み、人と人との結び付きを大切にしていく中で1つでも新しい芽が吹く様、浜の婦人協同運動をまだまだ現役で頑張っていかななくてはと思っている。これからも「地域に根ざした婦人部活動」を目標に努力して行きたいと思う。

図3：「城辺かつおフェア2001」チラシ

大漁

満開

じょうけんかつお
じょうけんかつお

城辺かつおフェア2001

開催場所 **南レク城辺球場**

5月27日 日

午前9時30分～午後2時まで **[雨天決行]**



海人・緑さわやか城辺!

主催◎城辺町南レク施設利用推進協議会/南千レクリエーション 都市開発/城辺町漁業普及推進協議会/城辺町
 共催◎東海漁業協同組合/入漁漁業協同組合/東海漁業協同組合/東海漁業仲買組合/城辺漁業研究会/
 城辺町漁業振興会/城辺町農工会/城辺町商工組合/城辺町青年会/南千和まつり会/お魚ママさん研究会
 愛媛県市町村漁業協会

後援◎愛媛県/愛媛県まなづき総合センター/愛媛新聞社/伊予山田漁港/南海放送/テレビ愛媛/あいテレビ/愛媛朝日テ
 レビ/FM愛媛/宇和島新聞社/城辺町生涯改善グループ連絡研究会/城辺町文化協会/城辺町体育協会/城辺町観光協
 会/愛媛県漁業協同組合連合会/愛媛県漁業振興協議会連合会/入りぬり漁業協同組合/城辺町漁業協会/城辺町青
 年会/城辺町行政協力員協議会/南千和青年会/南千和観光協会/南千和地区同好会/南千和保健委員

大漁な賞品が当たる!

びっくり抽選大会

かつおまつり

初夏の味



かつお
ふるさと小包
[2尾入り会場にて受付]
かつおの風船
拾った人はラッキー!
後日かつおをプレゼント!

初がかつお 3,000~5,000匹を
浜値で大放し!

さつまいもまつり

初夏の味

150鉢のさつまいもが
美の競演!

即売コーナー
相談コーナー

城辺グルメ市

かつおの刺身の試食コーナー
お魚料理屋台 (茶飯・タキ・にぎり)
お好み焼き・焼そばなど
手作り料理・海産加工品の販売

ふさと特産市

県内特産品の販売
愛媛ふるさと市
地元商店街出店の
城辺ミニ商店街
フリーマーケット

野菜朝市

町内でとれた新鮮野菜果物を超価格値で!

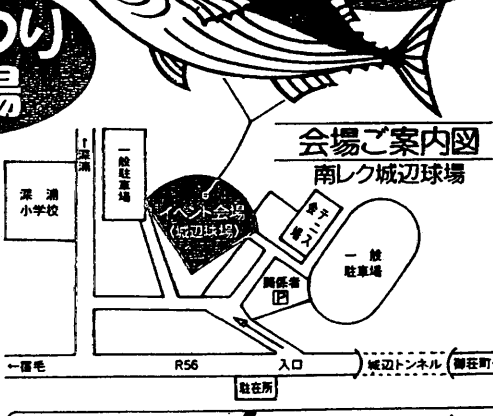
かつおの
アドハルーンを目標に
お越しください。

おまつり 広場

楽しい催しがいっぱい!

餅まき
1回目/AM10:00
2回目/PM15:00

かつお一本釣大会
城辺若獅子太鼓演奏
お魚のつかみ取り大会



ちひっこ 広場

FUAFUA
PIERO
高所作業車
無料
ルネサンス号

ステキな商品が当たる
びっくり抽選大会

同時開催 かつおカップ
南予テニス
トーナメント

